

政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、「浜松版グリーンレジリエンス」として、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算		840,994	943,895	1,039,462
決算		786,616	802,770	
人件費(A)		57,400	64,420	61,600
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)		844,016	867,190	1,101,062

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
年間木材生産量	m ³	181,200	目標	112,800	120400	128000	136000
			実績	116933	128693	126167	
森林経営計画 累計認定面積	ha	24,400	目標	13,600	14800	16000	17200
			実績	14973	19099	16516	
林業行政を総合的に推進する組織の設置		設置(H30)	目標	設置に向けた検討	-		
			実績	達成(27年7月)			

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

林業・木材産業の成長産業化に向け、低コスト林業の推進や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連施設への天竜材供給をはじめとした木材の地産地消並びに地産外商を推進する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
平成29年度の木材生産量は平成30年9月頃に判明する予定だが、天竜材の流通量や利用拡大のために天竜材の地産地消、地産外商を推進する各事業を積極的に実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	林業従事者助成事業(補助金)	○	○			10,150	8,750	0.2				
2	林道等整備事業					580,262	559,962	2.9				
3	低コスト林業推進事業	○	○	○		78,749	72,449	0.9				
4	木材需要拡大事業	○	○	○		311,397	281,997	4.2				
5	林業成長産業化推進事業	○	○	○		102,100	100,000	0.3				
6	森林環境基金積立金					3,712	3,012	0.1				
7	森林管理運営経費					14,692	13,292	0.2				
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,101,062	1,039,462	8.8				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 林業従事者助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

林業技術者の育成・確保を目的に、林業技術者が安心して作業ができる環境を整備する。

◇事業の概要

林業技術者助成事業(補助金)
 林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、森林組合が負担する経費を支援する。
 ・林業従事者安全装備品等支援事業
 安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援
 (防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー等)
 ・新規就業者支援事業
 新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		11,889	8,750	8,750
	決算		6,215	8,188	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等)(千円)	その他				
	一般財源		6,215	8,188	8,750
	一般会計繰入金				
	人件費(千円)		2,800	1,400	1,400
人工	正規		0.4	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
森林組合作業班員数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	200	200	200	200		200
実績値	178	176	179			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
新規就業者支援件数(件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	-	5	6	6	20(累計)	
実績値	-	6	6			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

林業技術者助成事業(補助金)

林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、森林組合が負担する経費を支援する。

・林業従事者安全装備品等支援事業

安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援

(防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー等)

・新規就業者支援事業

新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)

・事業の成果と課題

指標の達成度

目標の作業班員数は確保できなかったが、各森林組合への支援を計画どおり実施した結果、作業員数は前年度より3名の増員へとつながった。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

H29年度から見直した対象事業を引き続き実施していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き「林業従事者安全装備品等支援事業」を有効に活用し、従事者が安全に作業ができる環境整備を進めて、従事者の定着に繋げていく。

事業シート (事業名) 林道等整備事業

◇事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

◇事業の概要

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。
 ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。
 ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
 ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等を行う。
 ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。
 ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理する。
 ⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道を整備する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		506,630	571,912	559,962
	決算		522,438	477,817	
	国・県支出		136,678	107,579	135,062
	市債		222,700	178,200	241,800
	その他				
	一般財源		163,060	192,038	183,100
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)			22,400	21,000	20,300
人工	正規		3.2	3.0	2.9
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	23.6	23.8	24	24.2		25.4
実績値	23.2	23.3	H30.11頃確定			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行った。

①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等
【決算: 93,744千円(うち前年度繰越: 24,724千円)】

②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。

③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等
【決算: 123,389千円(うち前年度繰越: 40,858千円)】

④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等

⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理
【決算: 175,402千円(うち前年度繰越: 40,830千円)】

⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道の整備

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

実績

①公共林道整備事業(国庫補助)／	4路線
②県営林道整備促進支援事業(負担金)／	4路線
③県単独林道整備事業／	10路線
④市単独林道整備事業／	2路線
⑤林道維持補修事業／	
⑥林業専用道整備事業／	1路線

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

平成29年度は県単独補助事業の内示率が約5割だったため、改良工事や舗装工事が実施できない路線が発生した。また、地権者との交渉等が難航した路線で翌年度繰越になる路線が発生した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく。
- ・市単独事業については、計画的に事業を進めていく。

事業シート (事業名) 低コスト林業推進事業

◇事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や素材生産コストの低減に向けた林業機械導入等を支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①林業機械・施設整備事業(補助金)

「林業・木材産業構造対策事業費補助金」や「中山間地域林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		80,002	64,799	72,449
	決算		49,982	93,996	
	国・県支出			36,101	22,449
	市債				
	その他		49,982	57,895	50,000
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)			3,500	5,620	6,300
人工	正規		0.5	0.7	0.9
	再任用(h31)			0.2	
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年間木材生産量(m ³)				I-1(1)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	112,800	120,400	128,000	136,000	143,000	181,200
実績値	116,933	128,693	126,167			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置				-		23
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	設置検討	-	-	設置		-
実績値	達成(27年7月)	-				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)【決算:43,999千円(うち前年度繰越:29,261千円)】
「合板・製材生産性強化対策事業」及び「水土保全森林緊急間伐対策事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援

・事業の成果と課題

指標の達成度

①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)

龍山森林組合	グラップル付トラック	1台	7,898千円
(株)フジイチ	新型ラジキャリ	1台	2,997千円
(株)明善フォレスト	ウインチ付グラップル	1台	3,843千円
水窪町森林組合	ウインチ付グラップル	1台	7,600千円 (平成30年度へ繰越)

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

(作業道)	49路線	施工延長L= 12,311m	補助金額	29,468千円
(作業路)	22路線	施工延長L= 7,492m	補助金額	11,024千円
(索道)	63箇所		補助金額	9,505千円

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

概ね、計画どおりの事業量が整備できた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・林業経営の低コスト化に向け、国及び県補助金を活用し、高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備並びに林内路網整備等を支援していく。

平成30年度

(管理番号)
01 02 05 01 001728000 03

(担当課)
林業振興課

(責任者)
袴田 雄三

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 低コスト林業推進事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置 高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設緊急整備助 成事業)	高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設緊急整備助 成事業)	高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設緊急整備助 成事業)	高性能林業機械の導入 及び木材加工・流通施 設整備等の支援(林業 機械・施設整備事業)

事業シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇事業目的・事業対象

林業・木材産業の成長産業化を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.22・No.23】
 ①FSC認証材・CLT利活用推進事業(負担金)／「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」に対し負担金を支出し、事務局として協議会を運営する。
 ②天竜材の家百年住居の助成事業／天竜材の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
 ③木質バイオマス利用促進助成事業／木質ペレットストーブの購入・設置費用等への支援を行う。
 ④森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。
 ⑤天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取組む事業を支援する。
 ⑥(新規)天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
 ⑦(新規)天竜材ユーザー開拓推進事業／新たな天竜材ユーザー開拓のため、最終消費者に対して3つのアプローチにより天竜材の価値を訴求する。
 ⑧(新規)日本の木材活用リレー推進事業／東京2020オリ・パラ競技大会選手村ビレッジプラザへの天竜材の供給。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		230,751	276,220	281,997
	決算		199,290	204,849	
	国・県支出		26,904	8,726	7,449
	市債				
	その他			4,000	5,000
	一般財源		172,386	192,123	269,548
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)			28,000	32,900	29,400
人工	正規		4.0	4.7	4.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
森林経営計画 累計認定面積						23
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	13600	14800	16000	17200		24400
実績値	14973	19099	16516			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居の助成事業助成棟数				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	280	280	250	250		250
実績値	199	207	219			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
FSC森林認証面積(ha)				I-1(1)I		22
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	43,500	44,000	44,500	45,000	45,500	48,000
実績値	43,553	44,404	45,131			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
FSC認証材生産量(m ³ /年)				-		22
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	71,000	79,000	87,000	95,000		143,000
実績値	68,911	80,143	H30.7月頃			

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
木材・木製品製造業 製造品出荷額(億円/年)				I-1(1)E		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	323	355	324	356	450	450
実績値	229(26実績)177(H27実績)		H30.9月頃			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.22】

- ①FSC認証材・CLT利活用推進事業(負担金)／「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」への負担金支出。事務局として協議会の運営。
- ②天竜材の家百年住居の助成事業／天竜材を一定量以上使用して建築した住宅の建築主に対する助成。
- ③木質バイオマス利用促進助成事業／木質ペレットストーブの購入・設置費用等への支援。
- ④森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援。
- ⑤天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取り組む事業を支援。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」を運営した。29年度末参画事業者数:121社・団体
- ②天竜材の家百年住居の助成事業は、目標棟数を下回った。支援件数:219棟
- ③木質ペレットストーブの導入支援 支援件数:5基
- ④・森林整備地域活動支援交付金／森林経営計画策定に要する経費を支援
・森林環境保全直接支援・美しい森林づくり基盤整備／間伐等、森林整備に要する経費を支援
・合板・製材生産性強化対策事業(TPP対策)／間伐に要する経費を支援
- ⑤・天竜材地産地消推進事業／採択5社
・天竜材製品開発支援事業／採択1社
・天竜材海外輸出支援事業／台湾に向けて2コンテナを輸出等
・天竜材販路拡大事業／・ジャパンホームショー2017へ出展(11/15～17の3日間 来場者:41,576人、浜松ブース:約1,000人)
・セールスミーティング開催(大手家具メーカーと本市木材流通事業者とのビジネスマッチング)

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 その他 / その他 事業費 現状 人工 現状

- ・市民(最終消費者)に天竜材を選択してもらえるように、市民に対して天竜材の良さを直接訴求する事業を新設した。
- ・民間物件へ木材利用を拡大するために、木質化に対する支援事業を新設した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・木材利用にかかる事業者間の連携を強化し、天竜材の流通量及び販路拡大につなげていく。
- ・市民や民間物件へ向けて、天竜材(FSC認証材)の利用を促進する。

補助シート (事業名) 木材需要拡大事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
22	1 森林認証推進事業の実施 2 (仮称)FSCオリンピック フォーラムの開催 3 FSC認証材販路開拓事業 の実施 4 浜松市木質バイオマス利用 促進事業費補助金の交付	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居の助 成事業 3 FSC認証材販路開拓事業 の実施 4 浜松市木質バイオマス利用 促進事業費補助金の交付 5 天竜材海外輸出検証	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居の助 成事業 3 FSC認証材販路開拓事業 の実施 4 浜松市木質バイオマス利用 促進事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業	1 FSC・CLT利活用推進事業 2 天竜材の家百年住居の助成事 業 3 FSC認証材販路開拓事業の実 施 4 浜松市木質バイオマス利用促進 事業費補助金の交付 5 天竜材流通・販路拡大事業 6 天竜材めぐもり空間創出事業 7 天竜材ユーザー開拓推進事業 8 日本の木材活用リレー推進事業
〇〇				

事業シート (事業名) 林業成長産業化推進事業

◇事業目的・事業対象

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.22】

浜松地域林業成長産業化地域構想への参画事業者が行う事業を支援する。

- ・参画者: 素材生産者、製材・加工事業者、流通業者、森林育成事業者等
- ・将来像: 「多様なFSC認証製品の流通拡大によるクリーンウッド社会の実現」
- ・目標: 素材生産量1.5倍以上増加、製材品生産量1.3倍以上増加、製品販売量1.5倍以上増加、新規雇用者70人など(5年間累計)

- ・取組: ①品質の高い原木の増産及び需要に応じた原木の安定供給
②需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産
③「地産地消」・「地産外商」の2方向による天竜材の流通・販路の拡大
④需要に応じた川上から川下までの最適なサプライチェーンの強化・再構築
⑤次代の林業・木材産業を担う人材の育成

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成29年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			6,250	100,000
	決算			6,250	
	国・県支出			6,250	98,750
	市債				
	その他				1,250
一般財源					
一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)					
人件費(千円)				1,400	2,100
人工	正規			0.2	0.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年間木材生産量(m ³)				I-1(1)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	112,800	120,400	128,000	136,000	143,000	181,200
実績値	116,933	128,693	126,167			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
FSC認証材生産量(m ²)						22
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	71,000	79,000	87,000	95,000		143,000
実績値	68,911	80,143	H30.7月頃			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

構想5方年の初年度は、参画事業者が行う以下の4件のソフト事業を支援

- ②需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産
- ③「地産地消」・「地産外商」の2方向による天竜材の流通・販路の拡大・天竜式乾燥システムの研究事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

参画事業者が行う以下の4件のソフト事業を支援

- ②需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産
 - ・内装材の開発事業
 - ・スギ構造用集成材(JAS)の開発事業
 - ・天竜式乾燥システムの研究事業
- ③「地産地消」・「地産外商」の2方向による天竜材の流通・販路の拡大・天竜式乾燥システムの研究事業
 - ・木材需要拡大プロモーション活動事業

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・構想にあげたH29年度分の4件の事業について計画どおりに支援した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画どおり進めることで、構想で掲げる目標値の達成を目指していく。

平成30年度

(管理番号)
01 02 05 01 001728000 05

(担当課)
林業振興課

(責任者)
袴田 雄三

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 林業成長産業化推進事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
22			浜松地域林業成長産業化地域構想	浜松地域林業成長産業化地域構想

事業シート (事業名) 森林環境基金積立金

◇事業目的・事業対象

森林、河川等の自然環境を守り育て、森林の公益的機能を維持増進し、併せて林業の振興を図るため、平成18年4月に創設した「浜松市森林環境基金」への積立を適正に行う。

◇事業の概要

【平成28年度まで環境部環境政策課で執行】

○基金への積立

- ・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。
- ・基金の運用益を基金に積立てる。

○基金の効果的な活用

- ・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市森林環境基金に関する条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			5,012	3,012
	決算			2,824	
	国・県支出				
	市債				
	その他			2,824	3,012
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)				700	700
人工	正規			0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- 基金への積立
 - ・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。
 - ・基金の運用益を基金に積立てる。
- 基金の効果的な活用
 - ・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

・事業の成果と課題

- 指標の達成度
- ・森林環境基金への寄附金及び基金の運用収入を基金に積み立てることで、森林環境基金活用事業の財源として活用した。

・事業の見直し

- 実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・近年の寄附額の実績に基づいた予算額に見直した。

今後の方向性

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・引き続き林業振興課が所管となり事業を行う。

事業シート (事業名) 森林管理運営経費

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

◇事業のコスト		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		11,722	10,952	13,292
	決算		8,691	8,846	
	国・県支出				
	市債				
	その他		1,302	2,562	1,097
一般財源			7,389	6,284	12,195
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)			700	1,400	1,400
人工	正規		0.1	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 適切な伐採と流通の活性化

(予算費目名) 林業施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	438,796	260,000	260,000	260,000
決算	334,256	196,004	167,494	
人件費(A)	700	2,800	2,100	2,100
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	334,956	198,804	169,594	262,100

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
災害復旧工事の着工率	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

国庫補助災害は4路線(4箇所)、単独災害は171路線(288箇所)発生したが、いずれも工事着手しており、災害復旧工事の着工率は100%であり、目標値を達成することができた(3月16日時点)。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	林業施設災害復旧事業					262,100	260,000	0.3				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						262,100	260,000	0.3				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 林業施設災害復旧事業

◇事業目的・事業対象

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

◇事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
- ②市単独 災害復旧事業
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	438,796	260,000	260,000	260,000
	決算	334,256	196,004	167,494	
	国・県支出	93,179	42,803	19,240	104,000
	市債	21,000	5,100	5,200	76,000
	その他 一般財源 一般会計繰入金	220,077	148,101	143,054	80,000
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		700	2,800	2,100	2,100
人工	正規	0.1	0.4	0.3	0.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
災害復旧工事の着工率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ①国庫補助 災害復旧事業【決算:21,493千円】
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。
②市単独 災害復旧事業【決算:146,001千円(うち前年度繰越:47,599千円)】
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

国庫補助災害は4路線(4箇所)、単独災害は171路線(288箇所)発生したが、いずれも工事着手しており、災害復旧工事の着工率は100%であり、目標値を達成することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・災害発生後、早期に対応したことにより発生した災害はすべて着工することができた。
- ・常日頃からのパトロールや維持管理により、国庫補助災害の対象となるような災害を未然に防ぐことができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。